

令和8年4月20日

報道関係 各位

全国農業協同組合連合会岐阜県本部
(JA全農岐阜)

空き圃場を活用し飛騨ほうれんそう栽培 JA全農岐阜が初の実証、4月下旬に初収穫へ

JA全農岐阜では、生産者の減少という地域農業の課題に対応するため、空き圃場を活用した「飛騨ほうれんそう」の実証栽培に、2026年3月より新たに取り組んでいます。本取り組みでは、近年の夏場の気温上昇を踏まえた高温対策として、バイオスティミュラントを活用した栽培の実証を行っています。バイオスティミュラントは、肥料とは異なり、植物の生育環境に働きかけることで、植物本来の力を引き出し、高温などのストレス耐性を高める新しい農業資材であり、収量や品質の安定化が期待されています。

3月に播種を行い、4月下旬に初めての収穫を迎える予定です。なお、本事業はJA全農岐阜として初めて実施する取り組みとなります。

栽培から収穫までの作業は、昨年度ほうれんそう生産者のもとで研修を受けたJA全農岐阜の職員1名に加え、作業補助として特定技能外国人1名の体制で行い、収穫したほうれんそうは同年4月から稼働した「飛騨青果物パッキングセンター」に出荷されます。

今後は、本年度の試験結果を踏まえ、来年度から本格的に稼働する予定です。さらに、地域に点在する空き圃場を積極的に活用し、「飛騨ほうれんそう」の生産量拡大と安定供給を目指すことで、持続可能な農業の実現と地域活性化に貢献してまいります。

飛騨ほうれんそうの実証栽培、初収穫

◆日時：令和8年4月27日（金）10：00～

◆場所：岐阜県高山市国府町宇津江1999



発芽したハウレンソウ

【お問い合わせ】

JA全農岐阜 担当：園芸部 太田
TEL：090-5855-0623

広報担当：企画管理課 加藤
TEL：058-276-5415